


「中山間地域の生活用水の確保支援研修会」グループ討議資料

■グループ討議の流れ（時間：15：10～16：50 の 100 分間）

- 
- (1) 分野ごとに事前質疑を提案した市町村が主旨を説明
 - (2) 記録者（1人）と発表者（4人）を決める（原則、グループ内の全員に割り当て）
 - (3) 討議に入る前に、各自が自分の市町村の取り組みや課題をグループ討議記録表に整理
 - (4) 次に、各グループで議題ごとに討議
（各自が討議の内容をグループ討議記録表にメモし、記録者が発表用に取りまとめ）
 - (5) 最後に、各グループで取り組み事例や意見、質問などを分野ごとに発表
- ※ 以下、分野ごとに4つの分野を繰り返します。
 ※ グループ討議記録表の提出の必要はありません。
 ※ 時間配分は目安として、（各自の取り組み記入1分、趣旨説明1分+グループ討議5～10分+発表、質疑5～10分）×4分野を想定していますが、なお調整しながら進めます。

【議題】

分野 (時間 配分)	議 題 番 号	事前質疑の内容	提案 市町村
1 行政 支援 (15分)	①	高知市では現在、上水道、簡易水道については水道局で管理を行っているが、市が所管する飲料水供給施設については、水道局ではなく、ろ過施設等の水道設備に対する専門知識のない、当該地域の地域振興を担当する部署が管理を行っており、非常時の対応に課題がある。他の市町村における管理体制を参考までにご教示いただきたい。	高知市
	②	地域住民で独自に管理する飲料水供給施設には老朽化が進んでいるものが多く、今後、緊急修繕が必要となり、自治体に支援要請が来る可能性があると思われる。こうした際の対処方法、予算措置等の検討は行われているか。	高知市
	③	事業実施要領に定められている、地元水道組合等の事業実施主体に対しての「技術的又は事務的な支援」の具体的な方法をご教示いただきたい。	高知市
2 衛生 管理 (15分)	④	安定した衛生的な飲料水の確保のためには、住民が管理する飲料水供給施設であっても、定期的な施設の点検、水質検査が必要と考えられるが、これに対する支援は行われているか。	高知市
	⑤	小水道施設等における塩素滅菌の推進について、どう対応しているか教えてほしい。本町においては、金額等の関係から滅菌施設がなくても町単施設の補助対象としている。	梶原町
3 設計 (30分)	⑥	設計の際、資材の選定や単価等を調べるため、何か参考にしている書籍等あれば教えてほしい。	大豊町
	⑦	各市町村において、設計委託費を最小限に抑えて行うために工夫している点、また設計等を委託しない場合担当者が設計するのをご教授いただきたい。	津野町
4 維持 管理 (30分)	⑧	住民の高齢化により日常の維持管理体制が難しくなっている。各市町村では維持管理の難しい地域について、どのような対応を検討しているか教えてほしい。	須崎市、奈半利町、大豊町、梶原町、四万十町
		本市でも住民の高齢化が大きな問題になっており、地元より維持管理について相談がある状態です。対応等、ご教授お願いします。	土佐清水市